

髄膜血管型神経梅毒のために受診中あるいは受診経験のある
患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に対するご協力をお願い)

獨協医科大学埼玉医療センター脳神経内科では、上記の病気で受診された方の診療情報（カルテ情報）を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また、ご協力いただけない場合であっても今後の治療に不利益を受けることはありません。

本研究への協力を望まれない患者さんおよび本研究の詳しい内容（実施計画書・関連資料等）について閲覧になりたい方は、下記の【問い合わせ先】までご連絡をお願いします。

【研究課題名】

当科における脳血管障害を合併した髄膜血管型神経梅毒症例の検討

【研究の目的】

梅毒感染は、近年、世界的に増加傾向にあり、日本も例外ではありません。実際、2011年から2021年の10年間での報告数は約10倍にも増加しています。梅毒感染のなかで脳などの中枢神経に感染するものを神経梅毒といいます。その中で、髄膜や血管に炎症を起こすものを髄膜血管型神経梅毒といい、血管の狭窄・閉塞による脳梗塞や、血管解離による脳出血、動脈瘤の破裂によるくも膜下出血などを生じるとされていますが、その病態機序についてはいまだ不明な点が多いのが現状です。

本研究では、髄膜血管型神経梅毒の患者さんの検査データや画像所見などの診療情報を使用して、この疾患の病態機序を検討します。

【対象となる方】

2015年4月1日から2025年9月30日の間に、脳血管障害を合併した髄膜血管型神経梅毒と診断されて治療を受けた方

【使用する診療情報】

使用する検体や診療情報は以下のとおりです。なお、収集したデータは、研究責任者のもと適切に保管・管理致します。

1. 患者の基本情報（生年月・年齢・性別・身長・体重・血圧・既往歴・飲酒歴・喫煙歴など）
2. 検査結果（血液検査・髄液検査・頭部MRI検査）
3. 治療薬
4. 治療経過

【研究期間と参加予定人数】

この研究は当院臨床研究倫理審査委員会承認後、病院長許可日〔2026年02月28日〕から2027年03月31日まで実施され、4名の患者さんが対象となっております。

【個人情報の保護】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定出来る個人情報は削除し、収集されたデータは、個人が特定できないよう通し番号などで匿名化されたのち解析を行います。

【データの保管と二次利用】

この臨床研究によって得られたデータは、鍵やパスワードなどで保護し、第三者へ漏洩することがないように厳重保管され、研究の中止あるいは終了後 5 年または最終公表 3 年のいずれか遅い日まで保管されたのち、適切に廃棄されます。また、保管したデータを使用して、新たな研究を行う場合（データの二次利用）には、当院の臨床研究倫理審査委員会において、新たに臨床研究実施の可否が審査され、許可された場合にのみ実施されます。その場合には当院ホームページ（<https://dept.dokkyomed.ac.jp/dep-k/shien/offer/02.html>）に情報を公開する予定です。

【結果の公表】

この研究の研究成果は日本神経学会および脳卒中学会等で発表予定ですが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

【研究責任者】

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 学内准教授 赤岩靖久

【問い合わせ先】

埼玉県越谷市南越谷 2-1-50

獨協医科大学埼玉医療センター 脳神経内科 学内助教 中原拓巳

電話番号：048-965-1243（医局直通） 受付時間 平日 09:00～17:00（土日・祝祭日は除く）

以上